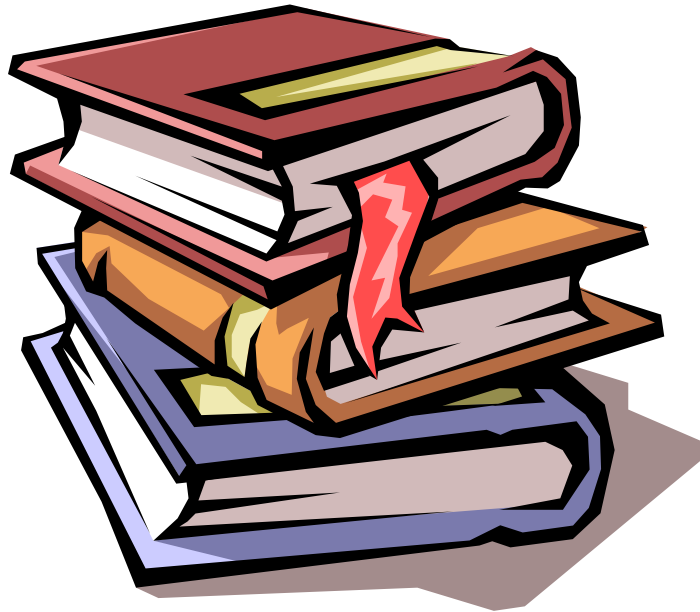


XP (XP Pedagogics: XP 的教育法)

2003 年 7 月 18 日
XP 祭り 2003



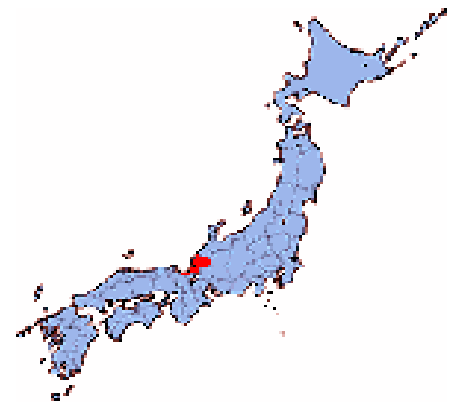
自己紹介

- 翔ソフトウェア (Sho's)

<http://www.shos.info/>

- 「XP 的教育法」は『XP 祭り 2002』で

- C#/.NET やオブジェクト指向系の研修に利用



アジェンダ

- 教育の必要性
- XP って教育的
- 従来のやり方
- XP 的教育法の概要
- 長所・短所



教育はずっと必要

- ドッグイヤーだし
 - 10年以上もつ知識もあるが
- やっぱり技術者だし



教育が必要

■ 人月の神話

- 「人員追加投入すれば」
- → デスマーチへ

■ オブジェクト指向への取り組みの失敗

- 「オブジェクト指向を採用すれば」
- → デスマーチへ

■ 教育コストがネックに



XP における教育

- XP ではうまく行っているらしい
 - XP では、教育コストを極力抑えられる
- 为什么呢？



XP の精神と実践って教育的

■ 教育に大切なこと

- スパイラル手法
- コミュニケーション
- フィードバック
- 勇気
- メタファー
- 実践



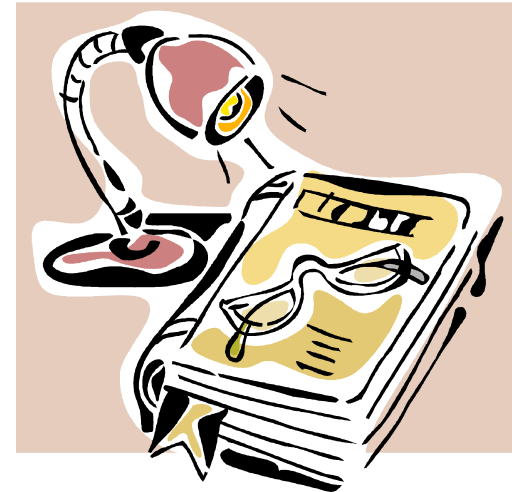
XP ってめっちゃめっちゃ教育的

- ペア・プログラミング
- コードの共同所有
 - 知識を共有
- 教育的フレームワーク
- XP で OJT はばっちり
 - でも OJT は技を盗める「師」がいないと低効果



XP 式の教育法

- XP (XP Pedagogics: XP 的教育法)
 - XP の精神と実践を教育に活かさないか



従来のやり方

■ カリキュラム

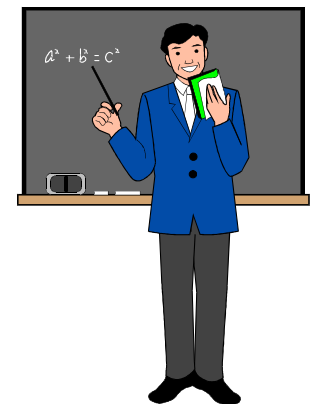
- 期間や内容がきっちり予定されている.
- → ウォーターフォール型

■ 長所

- ニーズが合えば濃い内容

■ 短所

- 顧客の問題が事前にはよく判らない
- 判ったときには終わっている

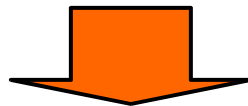


XP 的教育法の流れ

- 「顧客」への研修のプロセスの説明と調整
- 「受講者」の現状分析
- 初期の目標（スコープ）の設定
- イテレーション計画と顧客による承認



- 複数のイテレーション（顧客へのレビューと顧客による承認）



- 「顧客」による受け入れテスト
- プロセスの評価と見直し

イテレーション

- 現状の分析
- スコープの設定
- 期間の設定
- 顧客の承認

- レビュー
- 顧客の承認

- スタンドアップ ミーティング
- 学習

研修に関わる人々と役割

「受講者」

- 研修によって技術や知識を習得。
 - 「受講者」の研修終了後の習得度と研修開始時の習得度の差が研修の成果

「顧客」

- 研修の依頼者。研修の成果に対しては通常対価を支払う。社内顧客であることも。
 - 例。「受講者」自身。「受講者」の上司。
 - 「受講者」の現状やレベルアップの予定と結果を報告され、承認

「マネージャ」

- 研修を運営・管理。通常対価を受け取る。
 - 「顧客」からの依頼により、研修の Scope 通りに研修を運営・管理。常に研修の内容と進み具合を「顧客」に公開。

「講師」は？

- マネーじゃが中心
- 立候補制
 - 「受講者」も事前に講師に立候補
- 講師役をやると一気にスキルアップ
 - フィードバックも沢山



研修のスコープ

■ 問題

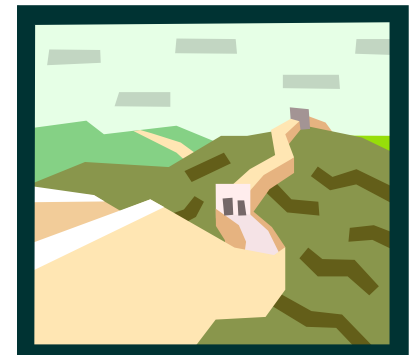
- 「顧客」の求める「受講者」の状態と「受講者」の現状との差.

■ 研修の目的

- 「顧客」の「問題」を解決する.

■ スコープ

- 研修の任意の時点での目的



価値

- コミュニケーション
- 継続的な改善
- フィードバック
- シェア
- オープン
- コミットメント
- モチベーション
- 「価値」は互いに強く補強し合う。



プラクティス

- 良い環境
 - 机の並べ方
 - 空調
 - 部屋を暗くしない
 - 視聴覚教材
 - リラックス
- チーム全体
 - 名前を覚える
 - 自ら学ぶ
 - 互いに尊重
- 明確な目標
 - 目標は見えるところに
- 常にレビュー
 - 全員参加
- 常にフィードバック
 - アイコンタクト
 - 質問・発問
 - こまめなフィードバック
- 適度なペース
 - 継続可能なペース
- ルール厳守
 - 時間厳守
- 最適な手法
 - 様々な手法
 - まず概要から
 - こまめな復習
- 共通の言葉
 - 例え話
 - 語彙



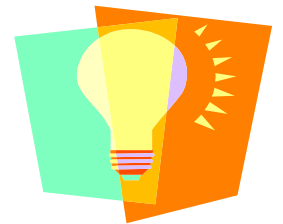
長所・短所

■ 長所

- 参加意識が高まりモチベーション アップ
- 研修の準備が研修前に集中しない
- イテレーション毎にそれなりの成果
- イテレーション毎に適宜研修内容をレベルアップ
- 顧客や受講者の新たな希望への対応
- XP の精神になじんでもらえる - アジリティ アップ

■ 短所

- 短期集中型の研修には向かない
- モチベーションが低いとうまく行かない



まとめ

- 教育の必要性
- XP って教育的
- 従来のやり方
- XP 的教育法の概要
- 長所・短所

